

### 半纏 (はんてん) — 「睦」

半纏 (絆纏) は庶民や職人が仕事着・作業着として、またお祭りでお神輿を担ぐ人などが着用します。背中にある文字は大紋 (だいもん) と言われ、江戸文字の書体で染められています。「睦」は「仲睦まじい」と言われるように「仲が良い」「和」という意味があります。



# 企業の社会的責任 (CSR)

地球環境の破壊をいかに防ぐか、限られた地球資源をどううまく使っていくのか。次の世代に夢のある美しい地球を残すために、メディアとして何ができるのか。日本テレビでは、2003年3月の「日テレ・エコ委員会」発足以来、これまで番組やイベント、広報・宣伝・IR活動、営業を通じて、また社内で環境保全活動に取り組んできました。2005年8月からは環境マネジメントシステムをスタートさせ、同年11月26日、在京民放キー局の全社規模としては初めて汐留日テレタワー（東京・港区）においてISO（国際標準化機構）の環境マネジメントシステム規格「ISO14001：2004」の認証を取得しました。

私たちが生きる地球を守るために、そして私たちの社会がいつまでも発展し続けるために何をなすべきか、日本テレビは皆様とともに考え、これからも番組やイベントを通じて、地球環境保全の大切さを伝えていきます。

## 日テレ・サステナビリティ基本方針

「日テレ・サステナビリティ」においては、《視聴率の追求のみならず質の高さも兼ね備えた番組の制作に努めるとともに、日本テレビタワーの最新鋭機能を効率的に活用して、デジタル新時代を積極的に生き抜く》《若い世代に夢のある美しい地球を残すため、番組を通じて環境保全をアピールするとともに環境負荷低減に努める》《経営環境の変化に対応する迅速な意思決定と業務執行に努め、持続可能な企業価値向上と社会への貢献度を高める》という、3つの基本方針を定めています。



### FTSE4Good

英FTSEインターナショナル社の社会的責任投資指標である「FTSE4Goodインデックスシリーズ」の構成銘柄に7年連続の選定

## 環境活動

日本テレビは、環境と社会への配慮を組み込んだ企業経営「日テレ・サステナビリティ」に取り組み、地球と社会、そして企業の持続可能な発展を目指しています。この日テレ・サステナビリティにおいて、経済的側面、社会的側面と並ぶ3本柱のひとつとなっているのが「環境的側面」です。

今世紀、全世界共通の課題は「地球環境の破壊防止」です。日本テレビは、メディア企業のリーダーとしての社会的責任を強く認識しており、「日テレ環境方針」の制定や「日テレ・エコ委員会」および「日テレ・エコ事務局」が中心となった環境保全活動「日テレ・エコ」を積極的に展開してきました。これにより、番組やイベントを通じて広く地球環境保全をアピールするとともに、企業活動によって生じる環境負荷の低減を図っています。私たちはこれらをさらに推進し、美しい地球を守るための努力を続けていきます。

### 日本テレビ環境方針

#### ■メディア企業としての情報発信

日本テレビは、番組や各種イベントを通じて、環境保全の重要性を広く国民にアピールします。これを通じて、メディアとしての社会的責任を果たし、環境保全に寄与します。

#### ■環境マネジメントシステムの構築と継続的改善

日本テレビの企業活動に相応しい環境マネジメントシステムを構築し、資源、エネルギーの有効利用を図ると共に、廃棄物の減量化、リサイクルを推進します。また、これを継続的に改善し、汚染防止に努めます。

#### ■法令遵守と社会的責任の遂行

日本テレビの企業活動に関連する環境法規制及びその他の要求事項を遵守し、社会的責任を果たします。

#### ■環境方針の達成

- ・ 環境目的及び目標を設定し、環境方針の達成に努めます。
- ・ 環境方針を全従業員に周知・徹底し、全社一丸となって実行します。
- ・ この環境方針を広く公開すると共に、地域社会とのコミュニケーションを図り環境の維持に努めます。

□ 番組を通じて発信される日本テレビならではの環境活動  
日テレecoウィーク「つなげよう、ecoハート。」  
MAKE THE FUTURE 2010  
～知る・守る・つくる～

日本テレビは、次の世代に夢のある地球を残すため、様々な環境保全活動に取り組んできました。その一環として、2005年から毎年、国連・世界環境デー(6月5日)に合わせて「日テレecoウィーク」キャンペーンを実施しています。従来は「エコについて考えてみよう、触れてみよう」という意味を含めて「Touch! eco (タッチエコ)」をテーマとしていましたが、今回のテーマは、次のステップとして「地球の現状を、『知る』こと。次世代に向けて、『守る』こと。そしてよりよい未来のため、『つくる』こと。」とし、2010年5月30日～6月6日の1週間にわたり、番組やイベントを通じて「日テレecoウィーク」を実施しました。「ズームイン!! SUPER」をはじめとする生放送情報番組、ゴールデン・プライムタイムのレギュラー番組、「NEWS ZERO」などの報道番組、スポーツ中継など、日本テレビのあらゆるジャンルの番組が、期間中に連動して独自の環境企画を放送しました。特別番組では、「ビートたけしと7人の賢者～未来への選択～人類は滅びるしかないのか」という地球環境エンターテインメントミステリー番組や「MAKE THE FUTURE 2010 地球を救う! ?とんでもない人グランプリ」というエコ情報番組を放送しました。同時に、イベントも開催し、ネット上でも環境に関するコンテンツを発信しました。特に今回は、環境活動にさらに広がりを持たせるため、日本テレビと同様にテレビ局として環境キャンペーンに長く取り組んでいるNHKと連携し、より広く多くの視聴者の方々に地球環境を考えていただくきっかけとなるようなキャンペーンを共同展開しました。



「日テレecoウィーク」つなげよう、ecoハート。」

これからも番組やイベントを通じて、私たちの地球、そして私たちの社会が、美しい姿のまま発展し続けるために何をなすべきか、日本テレビは皆様とともに考え、地球環境保全の大切さを伝えていきたいと考えています。

## 社会的活動

### 企業倫理

日本テレビでは、2003年12月に代表取締役会長を委員長とするコンプライアンス委員会を設置し、法令遵守、透明性の高い企業活動の推進に努めてきました。2004年6月にコンプライアンス推進室の設置および業務監査システムの強化を実施し、さらに、同年7月1日には「コンプライアンス憲章」\*を制定・発効しました。コンプライアンス憲章には、日本テレビグループのすべての役員・執行役員・社員が遵守すべき、基本的な内部規範が定められています。日本テレビグループは、自らこのコンプライアンス憲章を遵守することを宣言するとともに、すべての役員・執行役員・社員がコンプライアンス憲章を読み、理解し、遵守します。

\*詳細な内容につきましては、当社ホームページに掲載の

「コンプライアンス憲章」をご参照ください。

<http://www.ntv.co.jp/info/>

### 人材育成

日本テレビでは、多くの人に支持される放送局であり続けるために、コンテンツの更なる充実が不可欠であると考えています。

「コンテンツ制作力」は、“人”です。そこで、優秀な人材を求め、その能力を最大限発揮できる環境整備に努めています。社員の仕事の成果を正しく評価するための人材評価制度や、社員の適正な育成を行うためのキャリアデザイン、ジョブプリクエスト制度を導入しています。

2003年8月には給与体系の改定を行い、年齢や勤続年数による体系から、社員の実績を重視する成果主義に一本化しました。

また、社員の自己啓発や潤いのある生活を実現するための福利厚生カフェテリアプランなど、社員の活性化に貢献する様々な施策を推進しています。そして、こうした取り組みが会社の価値を高めることにつながると考えています。



#### □ 情報バリアフリー

日本テレビは、2001年8月、ニュース番組としてはわが国で初めて全編リアルタイム字幕放送をスタートさせました。キャスター、アナウンサー、リポーターはもちろん、記者会見、インタビューなどの音声を瞬時に字幕に変換して画面に映し出すシステムで、現在は、昼の「ストレイトニュース」、夕方の「news every.」で実施しています。聴覚障害のある方々に高く評価されており、政府が提唱する「情報バリアフリー」推進に貢献しています。

このほかにも数多くの番組で字幕放送を行い、情報伝達の機会均等を目指しています。

#### □ 公益財団法人 日本テレビ系列愛の小鳩事業団

眼の不自由な方へは副音声でドラマの情景描写を説明、聴覚に障害のある方には手話通訳や字幕放送で画面上に文字表示、と最近のテレビ放送は情報格差解消への対応を積極的に推進していますが、そのような状況がまだ生まれていなかった1974年に当事業団は設立されました。読売テレビ・札幌テレビ・中京テレビ・福岡放送の系列4社と日本テレビが基金を拠出しています。以来36年、視聴覚障害のためにテレビを十分に楽しんでもいただけない方々のお役に立ちたいという趣旨のもと、障害の早期発見治療や機能回復のお手伝い、社会の人々の理解促進のための協力活動を行ってきました。現在行っている主な事業は以下のとおりです。

#### ● 手話スクール開講

手話の普及発展を願い、毎週土曜日、東京・千代田区麹町で約100人の受講生が手話を学んでいます。

#### ● ニュースの手話放送

毎週日曜日のNNNニュース・サンデーに手話通訳をつけ全国にお届けしています。

#### ● 点字カレンダー配布

世界でも珍しい12枚の写真付き点字カレンダーを毎年、全国の視覚障害のある方々にお届けしています。2010年の写真テーマは「日本の灯台」です。日本各地の灯台と海の風景で構成しました。また、海外でも同様のコンセプトで独自の点字カレンダーが創作されることを期待して、初めて英文点字を取り入れた英語版も作成、米国議会図書館（ワシントン）をはじめ欧米の関連諸団体に参考資料として贈呈しました。